東野小学校　学校だより　令和７年４月25日　No.9

芯力（しんりょく）

今回は芯力（ものの中心にある力）です。子供たちには様々な芯力を身に付けてほしいと思っています。例えば、正しい姿勢で、正しい体の動かし方で体操する身体の芯力や、良いことは良い、良くないことは良くないと判断したり、小さな変化に気が付いたりする心の芯力など、人が成長していく中でとても大切な力です。子供たちには学校生活を通じて芯のしっかりとした人に成長してほしいと思います。

4/22、4/25　体育朝会で「ラジオ体操」を行いました！

広島県内に２７人しかいない一級ラジオ体操指導士の資格をお持ちの竹本敬子先生に正しく体を動かすラジオ体操を教えていただきました。２２日はラジオ体操第１の半分まで教えていただきました。

２５日はラジオ体操第１の残りを教えていただき、全体を通してみました。身体の芯をしっかりとさせて体操をすると、その姿が美しいですし、何より身体の４００を超える筋肉や関節をしっかりと動かした運動になります。運動会や夏休みのラジオ体操に向けて正しいラジオ体操ができるようにしっかりと練習していきたいと思います。

気付いているかな小さなメッセージ

小さな掲示物です。小さい掲示物ですが、きっと子供たちは気付いていると思います。これは、「ナッジ理論」を活用した掲示物になります。「ナッジ理論」とは、行動経済学の理論の一つで、人々がより良い選択を自発的にできるよう促す手法です。町中でも見かけたことがあると思います。例えば、トイレに「いつもきれいに使っていただいてありがとうございます」などと掲示があると思いますが、それも「ナッジ理論」の掲示物になります。子供たちは、校内の様々な場所にあるこの掲示を読むことで、指示されたり強制されたりすることなく、自然とより良い行動をとっていくようになってきています。保護者の方も学校に来られた際には、このナッジ理論の掲示見つけてみられてはいかがでしょうか。

6年生が考えに考えて、アドバイスを求めにやってきました！

６年生が１年生お迎え遠足での全校遊びについて、どん遊びがいいか考えに考えた結果、どんな遊びがよりふさわしいのかアドバイスを求めに来ました。やる気があっていいなと思います。「今回の遊びの目的に合ったものがいいこと、１年生から６年生までが仲良くなれるものがいいこと、１年生も活躍ができることも考慮できるといいですよね」とアドバイスしました。６年生は「考える参考になった。イメージができた」とそれぞれが言っていました。みんなが楽しめる遊びを考えてくれると思います。６年生、よろしくね！